

佳作

## 小さなトアちゃん

神奈川県 洗足学園中学校一年 宮下 陽菜

先日、私の叔母から一通の動画が送られてきました。その動画には、『トアが立ったよ!』というタイトルがついていました。それを見て母が泣いていました。なぜ泣いているのかを聞いて、私も泣きました。これは小さく小さく生まれた、私のいとこの話です。

私にはいとこが沢山います。その中で一番年上の私はいつも子守り役です。どの子もやんちゃで手が焼けるのですが、去年の一月に生まれたトアだけは少し違います。トアは、小さくておとなしく全然手がかかりません。いつも私のひざの上でニコニコしているトアが愛おしく、毎回会うのを楽しみにしています。しかし祖母が、「トアがまだ歩かない。」などの不安を私の母にもらしているのを何度か聞いた

た事があります。その度に母が心配ないよとはげましていたので、私はあまり気にしてはいませんでしたが、母の話聞き祖母が心配する気持ちもよく分かりました。

トアは叔母にとって三人目の子供で、妊娠が分かった時は皆何も心配していなかったそうです。しかし、定期検診で赤ちゃんがあまり大きくなっていないと言われるようになりました。赤ちゃんは平均より小さいまま出産予定日まできましたが、生まれる気配が全くなかったようです。そこで、陣痛促進剤という薬を使い赤ちゃんをだそうとしましたが、しだいに赤ちゃんの心拍が弱くなり緊急帝王切開で何とか出産できたそうです。無事生まれたものの体重は kilogram と少ししかなく、保育器の中で二から三か月入院したそうです。生まれてすぐに、私も病院までお祝いに行きましたがその時は赤ちゃんには会えませんでした。祖母だけ赤ちゃんに会いに行きました。戻ってきた時祖父は、「

手にのってしまいうくらい小さかった。」と、心配した顔で言っていたのを覚えています。

しかし、退院した後はトアなりにすくすく育っていききました。周りの子よりまだ小さいですが、ご飯

も沢山食べています。ただ、一才半になっても立つ事ができませんでした。そこに先日うれしい動画が送られてきました。トアは、そこにあつた加湿器につかまると、ゆっくりと立ち上がり足をガクガクとふるわせながらも手をはなしたのです。遠くから見守っていたのか叔父と叔母のガンバレガンバレという小さな声も入っていました。何秒か立った後、トアがコテツと転げるとそれにだきつく叔父の姿まで映っていました。

トアは困難を乗り越えて生まれてきたけれど、沢山の人の愛情につつまれて順調に成長しています。お医者さんも何も心配ないと言っているそうです。早く、私の手を引っ張って鬼ごっこしようかくれんぼしようとせがんで来る日が待ち遠しいです。